

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	×
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	論述
対象	学校組織マネジメントプログラム

受験番号				

問 令和6年8月に中央教育審議会が公表した『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」では、教師を取り巻く環境整備のためには、①学校における働き方改革の更なる加速化、②教師の処遇改善、③学校の指導・運営体制の充実を一体的・総合的に推進する必要がある、としている。

- (1) 今般の教師を取り巻く環境整備の目的について説明せよ。
- (2) (1)で説明した目的を達成するため、これからのスクールリーダーとして、どのような取組が必要と考えるか。これまでのあなたの学校現場における経験にも言及しながら、具体的に述べよ。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

<解答のポイント>

本出題は、令和6年8月に中央教育審議会が公表した『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」を踏まえたものである。その目的及び学校現場での具体的な取組について述べるに当たり、以下の点が解答のポイントとなる。

- (1) 今般の教師を取り巻く環境整備の目的について
 - ・今般の教師を取り巻く環境整備の最終的な目的は、学校教育の質の向上を通じた、「全ての子供たちへのより良い教育の実現」である。
 - ・教師は、学びに関する高度専門職であり、教職生涯を通じて探究心を持って主体的に学び続けること、教科や教職に関する高度な専門的知識や新たな学びを展開できる実践的指導力、子供の学びの過程を見取り質の高い学習評価を通じて指導の改善につなげていく力量等に加え、教職に対する使命感や責任感、子供に対する教育的愛情、豊かな人間性や社会性等が求められている。
 - ・そのために、教師のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の是正を図ることで、教師の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど教師のウェルビーイングを向上させることが重要である。また、自らの人間性や創造性を高め、その意欲と能力が最大限発揮できる勤務環境を整備し、教師がその高い専門性を大いに発揮できるようにすることにより、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようになる。

- (2) (1)で説明した目的を達成するための具体的な取組について

近年、学校では、教育相談や特別支援教育に関する連絡調整などの子供の抱える課題への対応や、校内研修、情報教育、防災・安全教育、道徳教育といった学校横断的な取組への対応などの学校が組織的に対応すべき事象が多様化・複雑化している。また、このような状況も踏まえ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめとした多様な支援スタッフが学校内で増えるとともに、地域や様々な関係機関との協力が重要となっており、学校内外との連携・調整に関する業務が増加している。多様化・複雑化する教育課題への適切な対応については、校長等の管理職がその権限と責任の下、適切に対応しつつ、組織的・機動的なマネジメント体制を構築するとともに、チームとして組織的に対応していくことが重要であり、ベテラン・中堅・若手層の教師が専門性を発揮し、効果的に校務を役割分担しながら、知識や経験の共有や継承を行う体制を構築することが必要となる。こうした、学校内外の連絡・調整機能の充実や学校の組織的・機動的なマネジメント体制の構築に向けた、スクールリーダーとしての取組をこれまでの自身の学校現場での経験に言及しながら具体的に述べることが求められる。